

科目名		授業形態	担当教員名	
地域作業療法学 I		講義	小田 佳子・淡路 大致 大浦 由紀・相澤 未有希	
時間数（単位数）		授業回数	開講時期	
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次 後期	
授業の目的・概要				
障がいがあっても、地域で共に生活をしてゆくことは、リハビリテーションの目指すところである。その中で作業療法士へのニーズは高まってきている。この授業では、地域作業療法の知識や各種制度について理解する。また医療から福祉への支援の流れや作業療法士の役割について学ぶ。地域で生活する障がい者の在宅生活を支える上で作業療法士の持つべき視点を理解する。また、精神科分野では、精神障害者の地域リハの理論と実践を、作業療法の視点から理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 地域リハビリテーションについての基盤、背景について説明することができる。 2. 地域で生活する障がい者の心身機能の低下の状況や生活上の不具合の特徴を説明できる。 3. 地域で生活する障がい者を支援するための制度について説明ができる。 4. 地域で生活する障がい者の心身機能だけでなく個人・環境因子など広い視野で捉えることができる。 5. 多職種と連携して支える多様なサービスの中での作業療法士の役割の説明ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域リハビリテーションの定義と歴史			
2	地域作業療法の役割 概要			
3	作業療法士が関わる社会保障制度			
4	身体領域の地域作業療法			
5	高齢者領域の地域作業療法			
6	高齢者領域の地域作業療法			
7	高齢者領域の地域作業療法			
8	高齢者領域の地域作業療法			
9	発達障害領域の地域作業療法			
10	発達障害領域の地域作業療法			
11	精神障害領域の地域作業療法			
12	精神障害領域の地域作業療法			
13	精神障害領域の地域作業療法			
14	精神障害領域の地域作業療法			
15	精神障害領域の地域作業療法			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	授業の理解度で評価する		
レポート	40%	課題レポートの内容で評価をする		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
身体機能作業療法学	山口昇	医学書院		
老年期の作業療法	浅海奈津美	三輪書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
高齢期作業療法学	松房利憲	医学書院		
よくわかる社会福祉	山縣文治	ミネルヴァ書房		
自由記載				
備考				
在宅生活を支えるサービスに興味を抱いて欲しい。				